



いわてまち 社会福祉協議会だより

82号
2016.3月

水堀保育所でお茶会を楽しみました。



編集と発行

社会福祉法人 岩手町社会福祉協議会

岩手町大字五日市10-51-1

TEL.0195-62-3570 FAX.0195-62-1599

●Eメール iwateow@eins.rnac.ne.jp

●ホームページ http://iwatemachi_shakyo.org

目次

- 第23回岩手町福祉作文コンクール作品紹介…… 2～8
- 社会福祉協議会費、社会を明るくする運動募金のご報告… 9
- 生活困窮者自立支援制度のお知らせ…… 10
- 岩手町シルバー人材センターのお知らせ… 11
- 赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金のご報告… 12・13
- 町の福祉 寄付金のご報告…… 14・15
- 生活福祉資金のお知らせ…… 16

この広報誌は、共同募金配分金の一部をあてて発行しています。

第23回岩手町福祉作文コンクールを実施

育てよう 思いやりの心 助け合いの心 福祉の心

社会福祉協議会では町内の小・中・高校生を対象に、高齢者や障がい者にやさしいまちづくりを目指し、地域福祉への理解と関心を高めることを目的として、岩手町福祉作文コンクールを毎年実施しています。23回目を迎えた今年度も、学校や家庭、福祉施設での体験や、高齢者・障がい者との交流によって育まれた思いやりの心・助け合いの気持ちなど、福祉の心にあふれたたくさんの作品が寄せられました。

この中から最優秀賞の作品と教育長の総評をご紹介します。

第23回岩手町福祉作文コンクール 入選作品

《小学校 低学年の部》

(応募総数 18 点)

小学校 低学年の部					(応募総数 18 点)
入 選	学校名	学年	氏 名		作 品 名
最優秀賞	一方井小学校	1	遠 藤 健 太	えんどう けんた	リハビリのしごと
優 秀 賞	一方井小学校	2	田 村 海 未	たむら みみ	大すきなひいおばあちゃん
佳 作	北山形小学校	2	大 村 祈 乃	おおむら いの	ありがとう、そしてがんばるよ
佳 作	北山形小学校	2	中 村 翔 真	なかむら しょうま	ぼくも手つだうよ
佳 作	水 堀 小 学 校	2	中 居 亜 海	なかい あみ	うれしかった「ありがとう」のことば
佳 作	沼宮内小学校	1	平 野 硯士朗	ひらの けんしろう	ずっといっしょにいたかったばばへ
佳 作	川 口 小 学 校	1	佐々木 玲 緒	ささき れお	パパのしごと

《小学校 中学年の部》

(応募総数 28 点)

入 選			学 校 名		学 年	氏 名		作 品 名	
最優秀賞	北山形小学校	4	柳 本 暖 翔	やなぎもと はると	だれもがなかよく関わり合って				
優 秀 賞	北山形小学校	3	小 沢 一 翔	おざわ いちか	にん知しょうの学習をして				
佳 作	北山形小学校	4	引 木 圭 太	ひきぎ けいた	みんななかよし岩手町				
佳 作	沼宮内小学校	3	佐々木 遥	ささき はるか	おじいちゃんはヒーロー				
佳 作	沼宮内小学校	4	佐々木 蒼 生	ささき あおい	キャップハンディ体験で知った福祉のこと				
佳 作	沼宮内小学校	4	岩 崎 朱 花	いわさき しゅか	体験して学んだこと				
佳 作	川 口 小 学 校	4	滝 本 楓 夏	たきもと ふうか	耳が聞こえなくても				
佳 作	久 保 小 学 校	4	田 中 莉 来	たなか りら	大変そうなおばあさん				
佳 作	一方井小学校	4	高 村 穂乃香	たかむら ほのか	小さなゆめと希望をくれたおじいちゃん				
佳 作	一方井小学校	4	今 松 美 緒	いままつ みお	ひいおばあちゃんのすごいところ				

《小学校 高学年の部》

(応募総数 19 点)

入 選			学 校 名			学 年			氏 名			作 品 名					
最優秀賞			川 口 小 学 校			6			佐 藤 千 尋			さとう ちひろ			支えられている「命」		
優 秀 賞			沼 宮 内 小 学 校			6			小 島 菜 桜			こじま なお			自分にできること		
佳 作			沼 宮 内 小 学 校			5			畠 山 環			はたけやま たまき			見えるということ		
佳 作			沼 宮 内 小 学 校			6			菊 池 響			きくち ひびき			福祉の心		
佳 作			岩 瀬 張 小 学 校			6			岩 崎 尚 旺			いわさき なお			障がい者の安心が見える世の中へ		
佳 作			水 堀 小 学 校			5			澤 口 健 太			さわぐち けんた			思いやり隊の活動をして		
佳 作			一 方 井 小 学 校			6			大 巻 茉 鈴			おおまき まりん			みんなのためのボランティア		

《中学校の部》

(応募総数 24 点)

入 選	学校名	学年	氏 名		作 品 名
優 秀 賞	川 口 中 学 校	1	岩 崎 友 菜	いわさき ゆうな	家族の絆
優 秀 賞	一 方 井 中 学 校	1	遠 藤 琴 美	えんどう ことみ	祖母と私と民謡
佳 作	川 口 中 学 校	2	佐 藤 優 翔	さとう ゆうと	お年寄りと暮していて
佳 作	川 口 中 学 校	2	田 村 俊 太 朗	たむら しゅんたろう	僕の身近にいるお年寄り
佳 作	東 部 中 学 校	2	小 澤 憧	おざわ あこ	優しく接し合う
佳 作	東 部 中 学 校	2	笹 渡 真 尋	ささわたり まひろ	小さなことから
佳 作	東 部 中 学 校	3	岩 崎 翔	いわさき しょう	地域のお年寄りの大切さ

《高校の部》

(応募総数 1 点)

入 選	学校名	学年	氏 名		作 品 名
最優秀賞	沼宮内高等学校	2	西 田	こそえ にしだ こそえ	ボランティア活動を通して

作品紹介

小学校 低学年の部

最優秀賞

リハビリのしごと

一方井小学校一年 えんどう けんた

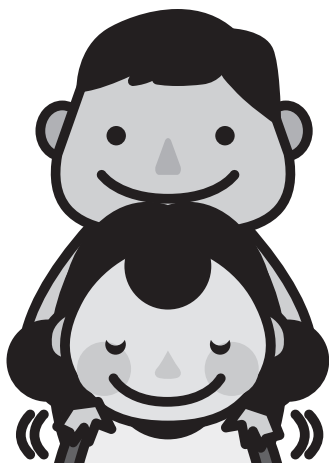
ぼくのおかあさんは、かいごろう
じんしせつでリハビリのしごとをし
ています。まえに、そこにあそびに
いったことがあります。それで、お
かあさんにリハビリのしごとのこと
をおしえてもらいました。

そこには、びょうきやけがで、か
らだをうごかせなくなったおじい
ちゃんやおばあちゃんがたくさんい
ます。おかあさんは、かたくなった
からだをうごかしたりいたるところ
をなおしたりしてもとのせいかつに
もどれるようにするしごとをしてい
るそうです。まいにちあしやうでを
うごかしてあげるのだから、たいへ
んでつかれるしごとだとおもいまし

た。でも、おかあさんは、つかれた
とはいったことがあります。すわ
れないおばあちゃんがすわれるよう
になってじぶんでトイレにいけるよ
うになったり、ひとりであるけるよ
うになったりするとおかあさんは、
とてもうれしいそうです。そして、
ありがとうといわれるとつかれをわ
すれるそうです。おかあさんのしご
とは、まほうのようです。すごいです。

ぼくは、けんこうではしったりす
きなところにいたりできます。も
し、じぶんのからだがうごかなく
なったらたいへんだとおもいまし
た。でも、いっしょにすんでいるひ
いおばあちゃんは、こしがまがつて
いて、ておしぐるまをおしてすこし
ずつあるいています。たかいところ
にもてがとどきません。ぼくは、ま
ほうはつかえないけど、おばあちゃ
んがたいへんなときやこまっている
ときは、たすけてあげることができ
ます。あるくときは、ささえてあげ
たりてをひいてあげられます。たか

いところのものは、とってあげられ
ます。ぼくは、おかあさんのしごと
をきいてすこしやさしいきもちにな
りました。こんどは、ぼくがおかあ
さんのかたをもんであげようかなと
おもいました。



作品紹介

小学校 中学年の部

最優秀賞

だれもがながよく
関わり合って

北山形小学校四年 柳本 暖翔

ぼくは、国語の学習で、自分の言葉を失うことは、ふるさとを失うことと同じかなしみなのだと分かりました。視力を失った大島さんのために、お母さんががんばって作った一ぺんの詩は、大島さんが点字を学ぶきっかけとなりました。

点字は、フランスのルイブラियユが考え出しました。文字を表すことは、知っていましたが、点字で、数字や音ぶ、ローマ字も表せると知って、とてもおどろきました。点字は、目の不自由な人にとって、人と関わるためにも大事なもののなのです。

ぼくは、調べれば調べるほど、体が不自由な人のために、考えられた物が見つかって、いろんな物が開発されていて、いいなあと思いました。ところが、便利だと思った点字は、目をつぶってさわってみると、とても文字には感じられませんでした。どこまでが一字なのかさえ分かりません。点字を作ることにもむずかしかったです。「あ」という点字をうらがえして、うたなければいけません。しかも、右から左に向かって文を作っていくのです。

便利だと思った点字ですが、覚えることは、大変な努力が必要だということが分かりました。体験することとで、どんなくろうがあるか、分かってきました。

ふくし協議会のいとうさんに見せられた写真にも、おどろきました。ゆうどうブロックの上に、自転車があります。いくら便利な物を作っても、これでは、役に立ちません。

このような学習をして、ぼくがで

きることは、しょうがいについて知ること、やさしい気持ちで考えて行動することだと思いました。

それは、むずかしいことではなく、

「こんにちは。」

このあいさつだけで、いいのです。おたがいが関わり合い、助け合える一歩になるのだと、いとうさんが教えてくれました。

目の不自由な人は、ぼくよりもたくさん努力していることが分かりました。すごい力があると思いました。調べて、話を聞いて、初めて分かりました。ぼくの心の中で、「不自由な人は大変そうだなあ。」という気持ちから、「ふつうの人の何倍も努力しているすごい人」と変わってきていることに気づきました。一生けん命に生きる、先ばいのようにさえ感じられました。だれもがながよく関わり合って生活できたらよりすてきな岩手町になりそうだなあ、と思いました。

作品紹介

小学校 高学年の部

最優秀賞

支えらねば「命」

川口小学校六年 佐藤 千尋

「大切なものは」と聞くと、「命」と答える人がいます。でも、なんで命なのだろうと私は思います。命とは、どんなものでどこにあるのかもよく分かりません。大雨で川があふれたり家が流されたりしてたくさんの人が亡くなった時は、命ってこわいもののように感じます。命がなくなれば、たくさんの人がなみだを流すからです。逆に、赤ちゃんが産まれた時などには、たくさんの人が喜び、明るくなります。命は、私たちがいろんな気持ちに変えます。

今年の夏、私はリーダー研修会に参加しました。そのときに、ケアホームにも行ってきました。話をたくさ

ん聞いたり施設の中を回って歩いたりしました。そのときに、おじいさんやおばあさんたちの活動の様子やどこにどんなものがあるかを見ました。でも、私が一番強く感じたことは、ケアホームの方全員が笑顔だということでした。ここで、私は二つのことを感じました。一つめは、「笑顔が命をのばしていく」ということです。ケアホームには、百歳の方もいると聞きました。これは、笑顔でみんながつながっているからではないか、と思いました。そう考えると、命は、みんなに支えられていることが分かります。二つめは、「いろんな人が一緒に活動している」ということです。車いすの人もしればそうではない人、年齢もさまざまです。女の人や男の人と一緒に活動していました。私が行ったときは、ボールを使っていました。お年寄りの人たちは、座ったりテレビを見たりして静かに過ごしているものだと思いますが、元気に活動して

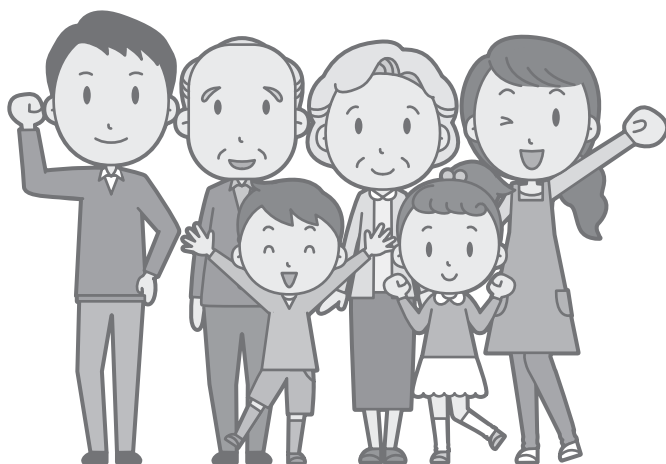
いたので驚きました。いろんな人が一緒に活動するためには、きつとおたがい思いやり理解し合うことが必要なのだらうと思います。リーダー研修会を通して、命とは、たくさんの人に支えられているものだと思います。命がなくなり死んでしまった時は、支えてくれたみんなが悲しみます。だから、命はとっても大切なものだったのです。

私は、命はずっと続いていると思います。たとえ命がなくなっても、命は続きます。命がなくなった人のことを忘れる人はいないからです。生きていた頃のことを思い、話したりなつかしんだりもします。伝記だってそうです。今はもう生きてはいないけれど、どんなことをしてどのように生きた人なのか分かります。そして、今を生きる私たちに大切なものを残していることが分かります。

命は一つしかなく、そして、目には見えないものなのでどこにあるか

作品介绍

が分かりません。でも、たくさんの人に支えられている、大切なものです。私の命も、たくさんの人に支えられています。そんな命を大事にしながら毎日を生き、自分も誰かの命を笑顔で支えてあげたいと思います。まずは、家族から。



高校の部

最優秀賞

ボランティア活動を 通じて

沼宮内高等学校二年 西田 こずえ

私は一年生の頃から、障がい者施設の夏祭りにボランティアで参加させていただいています。二年間参加したことによりわかったことや学んだことがとても多かったです。

一年生の頃、ボランティア活動が将来のためになると勧められ、様々な行事に参加しました。その一つに障がい者施設の夏祭りも入っていました。その時の私は、この夏祭りですべて皆さんと関わっていったらいいのかわからず、不安を抱えていました。私の発言で、相手を怒らせてしまったら、悲しませてしまったらどうしよう。私が笑って話しかけに

行っても、不安な心の中を読まれるのではないかと。思えば思うほど自分の行動にマイナスなイメージしか持てなくなりました。

当日、私はかき氷を作る仕事をすることになりました。お客さんとして、施設の皆さんがかき氷を買いにたくさん来て下さいました。そのとき、皆さんはとても明るく、笑顔でした。私は「これでいいんだ」と思うことができました。私も笑顔で、相手も笑顔だったら言葉の数は少なくても心は通じ合えるのだと気付きました。お祭りが終わり、お店の後片付けのときも参加した皆さんと手伝い合いました。声をかけあったり、重いものを一緒に運びました。一緒に何かをするということだけで、相手と達成感を共有できることがとても嬉しく思えました。

二年生になって、この夏にまた参加させていただきました。今年の仕事は、参加型イベントの呼びかけや受け付け、司会でした。段取りに追

作品紹介

われる中での仕事でした。しかし、それが良かったと思いました。変に気持ちを構えて会話するよりも、自然体で会話することができていたからです。二年間このボランティアに参加して、やっと肩肘張らずに皆さんと接することができたと実感できました。

私はこのボランティア活動から、人と接することとはどういうことか、と考えるようになりました。

私は保育園の頃、同級生の子に発達障がいを持った子がいました。思えばあの頃は今のようには何か考えながら接するということはしていませんでした。つまり、その子とは何の隔たりもなく一緒に遊んでいました。しかし、大人になるにつれ、忘れていったものばかりだと気付きました。

その気持ちを踏まえ、観に行っただけがありました。それは、ダウン症の子や発達障がいを持った子たちが踊る日本舞踊の会でした。私はそ

の舞台を観に行ったとき、とても感動しました。皆が繊細で綺麗な踊りを披露しているのを見て、心がぎゅっと締めつけられました。そして私は思いました。こういう形でいろいろな人と触れ合うことをしたいと。

私は幼い頃から日本舞踊を習っています。将来は踊りの先生になり、小さな子どもに踊りの良さを伝えられるようになりたいと思っています。しかし、私はこの舞台を観たことによって、私もこの舞台を開催した方のように、障がいを持った方やご年配の方々などたくさんの方々や子どもたちと一緒に踊りたいと思いました。孤児院や児童施設で育った子、障がいを持った子と一緒に踊りの教室をつくり上げていくことが私の夢になりました。

私は昨年のボランティア活動から夢につながるものを見つけることができました。これからの進路でも福祉のことを考えた分野に入りたいと

思いました。また、来年度も同じ夏祭りのボランティア活動に参加し、もっと皆さんと交流し、自分の思いの伝え方を高めていけるようになりたいと思いました。また、相手の気持ちやサインに、どう対応していったらいいのかも、これからのボランティア活動や様々なイベント、行事などで学んでいきたいと思っています。

将来は、これまでの経験、そしてこれからの活動の経験を、自分がやりたい職業につなげていけるような考えを深めて、夢を実現しようと思っています。



総評 「福祉の心」が確実に育っています

「福祉の心とは、誰に対しても優しさを配れる強さのこと」と概括的に定義した方もいますが、貴方はどう考えますか。

「福祉の心とは、どのようなものだと思いますか。」と問うと、返ってくる回答は一般的に次の二つに集約されるようです。

① 思いやり。相手の状況を感覚的に理解し、相手を気遣い行動したくなるような誰もが持っている心的徳性。

② 支え合い。献身とか自己犠牲といった発想ではなく、お互い様、共に生きていくという人間尊重の考え方。

改めて「福祉の心」を定義づけようと試みると、優しさや他者への気配りという意味を含む表現になりそうですが、スパッと表現することは難しいものです。大体のニュアンスは共有できても、その広さや深さは人によって異なるようです。社会福祉の現場で働く方々の困難さや過酷さを知ると、なおさら美的言葉だけでは言い表せない深刻な課題も多く横たわっていることに気づかされます。

そんな中でも、「福祉作文コンクール」に町内各小中学校から、たくさん応募してくれています。子供たちなりの「福祉の心」に関わっての実体験や学習したことを基に、「福祉の心」を焦点化し、自分の考えを文章にま

とめています。子供たちの感性は鋭く、表現意欲には素晴らしいものがあります。体験したことから様々考えを深めています。どの作品も読み手の心を揺さぶります。

子供たちを導き作品を仕上げるまで丁寧な指導に当たった各校の先生方のご労苦に敬意と感謝の思いでいっぱいであります。

審査会でも「福祉の心」の範囲が話題になりました。それは、沼宮内小学校三年生佐々木遥さんの作品「おじいちゃん」の評価についてです。「働き者で強いおじいちゃん」であることを、遥さんの視点で具体的に書いています。家族の絆の強さを三年生なりの表現で書き表しています。読み手をぐいぐい引き込む筆力はたいへん見事です。今までの福祉作文ではあまり見かけない内容であったために、審査同士で改めて「福祉の心」の意味や範囲を考えさせられたのでした。子供から大きなことを学びました。

この入選作品集の一つ一つから、岩手町の素直な子供たちの姿に触れていただきたいのです。

いい子供たちが育っています。岩手町の児童生徒に福祉の心を育む機会を提供くださっているご家族の皆様、地域の方々、指導くださった学校の先生方、そして、社会福祉協議会等の関係機関の皆様方に心より感謝申し上げます。

〈審査委員長〉 岩手町教育委員会教育長 平澤 勝郎

社会福祉協議会費(1世帯 800 円)・社会を明るくする運動募金(1世帯 100 円)

ご協力ありがとうございました まちの福祉のために 大切にに使わせていただきます

◎下記のとおり報告いたします(行政区ごと)

●一般社費

(単位:円)

地 区	世帯数	金 額	地 区	世帯数	金 額	地 区	世帯数	金 額
前ヶ沢	16	14,400	上大町	38	34,200	下黒内	45	40,500
吉谷地	6	5,400	下大町	73	65,700	葉木田	46	41,400
御堂新田	15	13,500	上野口町	50	45,000	今 松	54	48,600
御 堂	36	32,400	下野口町	39	35,100	上鳴沢	54	48,600
水 堀	32	28,800	上愛宕下	53	47,700	下鳴沢	36	32,400
小山沢	13	11,700	新愛宕下	82	73,800	上浮島	22	19,800
朽木林	20	18,000	下愛宕下	121	108,900	下浮島	80	72,000
北 上	6	5,400	江刈内	56	50,400	岩 崎	31	27,900
上横沢	24	21,600	石 神	86	77,400	沼 袋	18	16,200
下横沢	22	19,800	上苗代沢	74	66,500	子 抱	21	18,900
尾呂部	64	57,600	下苗代沢1	67	60,300	芦田内	34	30,600
川原木	57	51,300	下苗代沢2	51	45,900	野 原	78	70,200
笈の口	21	18,900	駅 前	24	21,600	雪 浦	56	50,400
豊 岡	36	32,400	犬 袋	135	121,500	橋 場	137	123,300
大 坊	98	88,200	子抱団地	15	13,500	上 町	30	27,000
岩瀬張	38	34,200	細 沢	41	36,900	駅 通	116	104,400
曲 り	8	7,200	太 田	53	47,700	下町・山道	95	85,500
一本柳・白樺・日ノ神子	42	37,800	横 田	91	81,900	境田・二ツ森	179	161,100
下屋敷・膝突・葉の木・上平	42	37,800	半在家	17	15,300	高梨・秋浦	37	33,300
小金沢・大金沢	18	16,200	久保・落合	56	50,400	土滝・雨滝	8	7,200
相寅瀬・万部・落葉	45	40,500	新 田	45	40,500	子九十	18	16,200
大 平	11	9,900	土 川	54	48,600	大渡・遠中沢	25	22,500
上・下五日市	220	198,000	大 森	23	20,700	太 布	14	12,600
城山・新町	130	117,000	一方井	114	102,600	水 無	25	22,500
民部田	135	121,500	中 田	35	31,500	丸泉寺	11	9,900
柳 橋	43	38,700	黒 石	66	59,400	穀 蔵	4	3,600
館	118	106,200	大 股	14	12,600	合 計	4,243	3,818,600
田中・栄小路	58	52,200	上黒内	22	19,800			

社会を明るくする 運動募金は…

1世帯
100円の
ご協力

岩手地区(岩手町・八幡平市・葛巻町)保護司会の活動資金に充てられます。

保護司は、犯罪や非行に陥った人の更生を支援するとともに、地域の犯罪・非行の予防を図る活動を無償で行なっている民間ボランティアです。保護司の活動に協力する主旨の募金です。

社会福祉協議会費は…

1世帯
800円の
ご協力

地域福祉ネットワーク事業、高齢者福祉サービス、福祉団体等の育成、子育て支援、ボランティア活動支援、福祉教育の推進等、社会福祉協議会が実施する様々な福祉活動の運営費に充てられます。

誰もが、住み慣れた町で安心して過ごせるよう、住民参加による生涯現役の福祉のまちづくりを目指し、地域に寄り添った事業を展開してまいります。



～生活困窮者自立支援制度が始まりました～

平成 27 年 4 月から盛岡広域振興局では生活困窮者自立相談支援事業を岩手県社会福祉協議会に委託し、「いわて県央生活支援相談室」を開設しました。

生活・就労・福祉などの問題解決に向けて関係機関と連携しながら専門の相談員と一緒に取り組んでいます。

- 生活に困っている

収入が少なく電気、ガス、水道が止められそう

- 家賃を払えない

貯金が底を突いてしまった

- 仕事が見つからない

失業期間が長くなり不安だ

- 将来が不安だ

- 住むところがない

離職後、アパートを追い出された

- 社会に出るのが怖い

- 家族のことで悩んでいる

- 病気で働けない



など、どのような相談もお受けします。

問い合わせ先

岩手町社会福祉協議会

電話番号 0195-62-3570

または、

いわて県央生活支援相談室 岩手県社会福祉協議会 電話番号 019-637-4473

受付時間 8:30～17:15（月～金）祝祭日を除く

窓口に来られない場合には相談員が訪問することもできます。
ご家族など周りの方からの相談でも受付いたします。
一人で悩まず、お気軽に相談ください。



ご存知ですか？

岩手町シルバー人材センター

主な作業内容の紹介

草刈作業



草取り作業



除雪作業



日曜大工作業



掃除作業



剪定作業



《岩手町シルバー人材センター》

TEL 0195-62-3570

●岩手町シルバー人材センターとは？

岩手町シルバー人材センターは、人手不足でお困りの方などの要請によって仕事をし、地域に貢献することを目的に活動している団体です。

家の周りの草取りや草刈、冬場の除雪など、長年のキャリアで培ったノウハウを活かしてきめ細やかにお手伝いします。

利用方法については下記をご確認下さい。

●仕事を依頼したいときには…

①まずはお電話で

気軽にお電話で連絡いただければ、職員が仕事の内容を聞き、話し合いの上で条件等を考慮し、依頼をお受けします。

②就業の請負

依頼を受けた仕事に合った会員を割り当て、就業します。

③利用料の請求

派遣を受けた会員が就労カードを持参します。作業終了後、依頼者からカードに作業内容の確認と署名・捺印をいただきます。後日、利用料を計算し、郵送にて請求します。

④利用料の支払い

請求書と一緒に払込用紙をお届けしますの
で、現金又は振込にてお支払いいただきます。

●岩手町

シルバー人材センター

会員募集中！

岩手町シルバー人材センターでは、町内に居住している六十歳以上で、自分の経験や技術を地域のために役立てたいという方や、自分の生きがいにしたい方を募集しています。シルバー人材センターでの仕事を通じて働く仲間とのふれあいや、お客様から喜ばれる地域社会での活躍は、あなたの生きがいにつながるものと思います。

会員登録を希望される方は、岩手町シルバー人材センターまでお問い合わせください。



赤い羽根共同募金

みなさまからたくさんの募金にご協力を頂きました。

◆戸別募金（一般募金・歳末募金）

（単位：円）

地 区	世帯数	一般募金	歳末募金	地 区	世帯数	一般募金	歳末募金	地 区	世帯数	一般募金	歳末募金
前ヶ沢	16	14,400	3,200	田中・栄小路	58	52,200	11,600	下黒内	45	40,500	9,000
吉谷地	6	5,400	1,200	上大町	36	32,400	7,200	葉木田	46	41,400	9,200
御堂新田	15	13,500	3,000	下大町	72	64,800	14,400	今松	54	48,600	10,800
御堂	36	32,400	7,200	上野口町	53	48,600	10,600	上鳴沢	52	46,800	10,400
水堀	32	28,800	6,400	下野口町	40	36,000	8,000	下鳴沢	35	31,500	7,000
小山沢	13	11,700	2,600	上愛宕下	51	45,900	10,200	上浮島	22	19,800	4,400
朽木林	20	18,000	4,000	新愛宕下	86	77,400	17,200	下浮島	80	72,000	16,000
北上	6	5,400	1,200	下愛宕下	120	108,000	24,000	岩崎	31	27,900	6,200
上横沢	24	21,600	4,800	江刈内	55	49,500	11,000	沼袋	18	16,200	3,600
下横沢	22	19,800	4,400	石神	83	74,700	16,600	子抱	21	18,900	4,200
尾呂部	63	56,700	12,600	上苗代沢	73	65,700	14,600	芦田内	35	31,500	7,000
川原木	57	51,300	11,400	下苗代沢1	64	56,700	12,800	野原	77	69,300	15,400
笈の口	21	18,900	4,200	下苗代沢2	47	42,300	9,400	雪浦	56	50,400	11,200
豊岡	36	32,400	7,200	駅前	24	21,600	4,800	橋場	139	124,200	27,800
大坊	95	85,500	9,000	犬袋	135	121,500	27,000	上町	31	27,900	6,200
岩瀬張	38	34,200	7,600	子抱団地	15	13,500	3,000	駅通	116	104,400	23,200
曲り	8	7,200	1,600	細沢	39	35,100	7,800	下町・山道	95	85,500	19,000
一本柳・白樺・ 日ノ神子	42	37,800	8,400	太田	53	47,700	10,600	境田・ニツ森	178	160,200	35,600
下屋敷・膝突・ 葉の木・上平	42	37,800	8,400	横田	91	81,900	18,200	秋浦・高梨	37	33,300	7,400
小金沢・ 大金沢	18	16,200	3,600	半在家	17	15,300	3,400	土滝・雨滝	8	7,200	1,600
相寅瀬・万部・ 落葉	45	40,500	9,000	久保・落合	56	50,400	11,200	子九十	18	16,200	3,600
大平	10	9,000	2,000	新田	45	40,500	9,000	大渡・遠中沢	25	22,500	5,000
上・下五日市	220	198,000	44,000	土川	54	48,600	10,800	太布	14	12,600	2,800
新町・城山	130	117,000	26,000	大森	25	22,500	5,000	水無	25	22,500	5,000
民部田住宅	133	119,700	26,600	一方井	107	96,300	21,400	丸泉寺	11	9,900	2,200
柳橋	43	38,700	8,600	中田	35	31,500	7,000	穀蔵	4	3,600	800
舘	119	107,100	23,800	黒石	66	59,400	13,200				
				大股	14	12,600	2,800				
				上黒内	22	19,800	4,400				
								合 計	4,219	3,796,200	843,800

みなさまの募金が様々な地域福祉事業に役立てられています

岩手県共同募金会岩手町共同募金委員会（会長 西館政彦）では、平成 27 年 10 月 1 日から 12 月 31 日の赤い羽根共同募金運動月間中に、一般募金と歳末たすけあい募金を行い、町内各世帯を始め、学校、病院、職場、個人や団体等たくさんの方々からご協力をいただきました。

募金の総額は、一般募金が 4,114,455 円、歳末たすけあい募金が 843,800 円でした。

一般募金については、町内で活動する福祉団体やボランティアに関する事業、福祉教育に関する事業、歩行困難な高齢者や障がいのある方のための外出支援サービスや理美容サービスなど、岩手町の地域福祉事業等に役立てられます。

歳末たすけあい募金の使い道については、義援金の配分報告をご覧ください。

みなさまの善意が地域を支えています。たくさんのご協力に心から感謝いたします。

◆職域募金

(単位：円)

職場名	一般募金
岩手銀行沼宮内支店	2,056
府金製粉(株)	10,000
ケアホーム川口	10,205
岩手町デイサービスセンター	5,169
JA 新いわて 岩手支所	5,494
佐渡医院	10,000
岩手缶詰(株)岩手町工場	5,000
(株)高橋建設	5,000

職場名	一般募金
あんずの里	28,410
盛岡中央消防署岩手分署	2,000
沼宮内歯科医院	10,000
北上脳神経外科クリニック	1,325
SWS 東日本(株)	1,310
岩手中央自動車学校	1,946
沼宮内郵便局	322
(株)佐藤建設	20,000

職場名	一般募金
(有)外山商店	1,420
佐藤整形外科クリニック	3,227
北進印刷(有)	3,269
岩手町役場	11,181
社会福祉協議会	3,531
西館保険サービス(有)	5,000
(株)ベルプラス沼宮内店	586
職域募金合計金額	146,451

◆学校募金

(単位：円)

学校名	一般募金
岩手町立東部中学校	10,448
岩手町立水堀小学校	6,817
岩手町立沼宮内小学校	7,904
岩手町立川口小学校	4,615
岩手町立岩瀬張小学校	7,050
岩手町立北山形小学校	3,979
岩手町立一方井小学校	7,773
岩手町立久保小学校	1,705
岩手町立沼宮内中学校	7,979
学校募金合計金額	58,270

◆その他募金

(単位：円)

募金者名	一般募金
街頭募金	11,135
南山形地区文化祭実行委員会	39,200
北山形地区文化祭実行委員会	43,400
森のアーリーナ	19,735
利息	64
その他募金合計	113,534

◆募金合計

(単位：円)

一般募金合計額	4,114,455
歳末募金合計額	843,800
共同募金合計額	4,958,255

歳末たすけあい募金

地域歳末 たすけあい運動

地域歳末たすけあい運動は、「みんなでささえあう、あったかい地域づくり」がスローガンです。

町内の要保護世帯や在宅でねたきり等の高齢者や重度障がい者等を対象に、歳末たすけあい義援金として、歳末たすけあい募金を配分しております。

みなさまからのご協力に感謝いたします。

義援金配分の報告

配分対象及び経費	配分額
要保護世帯 123 件 要保護世帯人員 210 名	456,000 円
在宅ねたきり・認知症高齢者 11 名	66,000 円
在宅重度障がい児・者 24 名	144,000 円
災害被災世帯 1 件	7,000 円
配分経費	3,355 円
地域福祉事業	167,445 円
合 計	843,800 円

福祉に関する話題が ありましたら お寄せ下さい

Eメール iwaketow@eins.rnac.ne.jp
電話 :0195-62-3570

まちの福祉

～福祉に関する情報コーナー～

町社会福祉大会で福祉の町づくり

平成二十七年十二月三

日、岩手広域交流センター
プラザあいにて、「第三十
五回岩手町社会福祉大会」
を開催しました。

『住民総参加による生涯
現役の福祉のまちづくり』
をスローガンに掲げ、町内
の福祉・保健・教育関係者
約百七十名が参加し、オー
プニングでは当協議会が運
営を行っている岩手町立一
方井保育所の園児が元気な
キッズソーランを披露しま
した。この大会では、町の
社会福祉向上に尽力された
方々に対する表彰式や町福
祉作文コンクールのも優秀
作品の作文発表、また、社
会福祉法人つくし会理事長
熊谷茂氏より「高齢者介護
の現状と課題と期待」と題
して講演をいただきました。
最後に大会宣言（案）
の採択が行われ、参加者か
らの盛大な拍手により閉会
となりました。



第35回岩手町社会福祉大会 被表彰者（敬称略）

◇社会福祉事業功労者

氏名	地区	事績
岡外 正	苗代沢	「特別養護老人ホームあんずの里」の職員として、多年にわたり地域福祉の向上に尽力された
西市 志麻	小山沢	「特別養護老人ホームあんずの里」の職員として、多年にわたり地域福祉の向上に尽力された
石川 紅香	八幡平市	「特別養護老人ホームあんずの里」の職員として、多年にわたり地域福祉の向上に尽力された
遠藤 雅俊	八幡平市	「特別養護老人ホームあんずの里」の職員として、多年にわたり地域福祉の向上に尽力された
平野 孝弘	下町	「岩手町デイサービスセンター」の職員として、多年にわたり地域福祉の向上に尽力された
武田 陽子	館	「岩手町デイサービスセンター」の職員として、多年にわたり地域福祉の向上に尽力された
柵山 洋	大町	ボランティア団体「三翔会」結成時から多年にわたり地域福祉の向上に尽力された
横田 信一	横田	民生委員児童委員として、多年にわたり地域福祉の向上に尽力された
村田 亀松	野口町	老人クラブ連合会役員として、多年にわたり老人福祉の向上に尽力された
須田山 進	前ヶ沢	身体障がい者協議会役員として、多年にわたり障害者福祉の向上に尽力された
遠藤 キヨ	葉木田	身体障がい者協議会役員として、多年にわたり障害者福祉の向上に尽力された

◇広く社会に顕彰するもの

氏名	地区	事績
藤原 徳明	大町	福祉事業に対し多額の寄付をいただいた

◇感謝状

【社会福祉協力園】

※多年にわたり社会福祉協力園として社会福祉の啓発普及に尽力された

社会福祉法人 岩手城山保育園

【社会福祉推進校】

※多年にわたり社会福祉推進校として社会福祉の啓発普及に尽力された

岩手町立沼宮内小学校	岩手町立岩瀬張小学校
岩手町立川口小学校	岩手町立沼宮内中学校
岩手町立北山形小学校	岩手町立川口中学校
岩手町立一方井小学校	岩手町立東部中学校
岩手町立水堀小学校	岩手町立一方井中学校
岩手町立久保小学校	岩手県立沼宮内高等学校

理事を選任



町社会福祉協議会では、平成二十七年八月二十四日の評議員会で、理事の選任が行われ、田村進氏が選任されました。

手をつなぐ会交流会



町手をつなぐ会（会長 瀬川正春）では、平成二十八年二月十三日に岩手こいの村で交流会を開催しました。

交流会では、今年もみんなで楽しく活動できるように会員同士の親睦を深めました。

岩手町金婚慶祝会の開催

町社会福祉協議会（会長 西館政彦）では、平成二十七年十一月四日、岩手広域交流センタープラザあいを会場に「平成二十七年岩手町金婚慶祝会」を開催しました。結婚五十三年の節目を迎えられた二十三組のご夫婦にご参加を頂きました。参加されたご夫婦は、お互いの苦労をねぎらい喜びを分かち合い、これからも末永く共に手をたずさえて健康で暮らしていくことを誓いました。



沼宮内保育所で豆まき会

沼宮内保育所（所長 佐藤誠子）では、平成二十八年二月三日に節分にあわせて豆まき会を行いました。鬼の登場に驚いた子もいましたが、無事に鬼を退治することが出来ました。



ご寄付
ありがとうございました

ご寄付いただいた方の紹介

寄付者名・寄付団体名 【平成 27 年 7 月 11 日～平成 28 年 2 月 29 日受付分】

●みちのくコカ・コーラボトリング(株) 西根営業所 様	2,293 円	●田村サツ子 様 (福祉教育教材購入費)	200,000 円
●西田 利夫 様	100,000 円	●匿名 様	5,630 円
●全国気まぐれ會 会長 藤原文男 様	100,000 円	●月山 キミ 様 (切手)	11,765 円分
●吉田 幸助 様 (切手)	46,160 円分	●ネオス株式会社 様	4,828 円
●沼宮内婦人会 様	30,000 円	●匿名 様	300,000 円
●岩手町婦人団体連絡協議会 様	50,000 円	●駒井 俊幸 様	200,000 円



●生活福祉資金貸付制度とは

他の貸付制度が利用できない、低所得世帯や障がい者世帯などの経済的自立と生活の安定を目指し、国と県が資金を出し合い、民生委員や市町村社会福祉協議会が窓口となって生活援助指導を基に無利子や低利子で資金貸付を行うものです。

●ご利用いただける世帯

・低所得世帯

世帯の収入がおおむね市町村民税非課税程度。または生活保護法に基づく生活扶助基準の1.7倍程度

・障がい者世帯

身体障がい者世帯、知的障がい者世帯、精神障がい者世帯

・高齢者世帯

65歳以上の高齢者の属する世帯で、その世帯の所得が、おおむね生活扶助基準の2.3倍程度（高齢者を含む4人世帯でおおむね年収600万円程度）以下の世帯（注：福祉資金については、「日常生活上介護を必要とする状態」にあることが必要）

・生活保護世帯

生活保護を受けている世帯

●利用にあたって…

・連帯保証人（一部、連帯保証人なしで借りられる資金もございます）

原則として県内に居住する65歳以下の方で、借受世帯の償還困難時には債務を履行することができる方。

日頃から熱心に相談援助してくれる方で、申込人よりも収入の多い方。

・利子・返済方法

貸付利子は「年1.5%」（一部、無利子の資金もございます）で、預貯金口座からの自動引き落としとなります。

償還期限内に償還完了できない場合は、残元金に「年5%」の延滞利子が発生します。

・民生委員児童委員

この資金は生活の安定や立て直しを図ることを目的としていますので、申込時から償還完了まで、担当の民生委員が支援、相談にあたります。

・注意

資金の種類によっては、利用できない世帯もございます。制度の詳しい内容については、社会福祉協議会まで問い合わせ下さい。

●貸付資金の種類

・総合支援資金

失業や収入の減少により、世帯の生活の維持ができなくなった等、生活の立て直しのための貸付資金です。

・福祉資金

福祉機器の購入や、商売・結婚・出産・葬儀・引越・住宅改修等の経費、または日常生活上一時的に必要な経費等お貸しするものです。

・緊急小口資金

緊急的かつ一時的に世帯の生計維持が困難となる場合の貸付資金です。

・教育支援資金

高校・大学・短大・専門学校等への就学に際し、入学金や制服等の就学経費と、授業料や通学定期代等の修学経費の貸付資金です。

・不動産担保型生活資金

今お住まいの居住用不動産を担保に生活資金をお貸しするものです。

生活福祉資金に関する
相談・申し込み・問い合わせは…

岩手県社会福祉協議会
TEL019-637-4440

または

岩手町社会福祉協議会
TEL62-3570

所在地：岩手町大字五日市 10-51-1